

平成29年3月7日
四国電力株式会社

地中送電ケーブルに関する国への報告について

当社は、平成28年10月12日に発生した、東京都内大規模停電を受けた経済産業省からの緊急点検の指示を受け、高経年化による劣化が疑われる可燃性のある地中送電ケーブル（OFケーブル※）を使用している18万7千Vの香川線（香川県綾歌郡）とお客さま供給線路（香川県坂出市）の2線路の点検を行うとともに、その結果を11月11日に報告しました。

なお、お客さま供給線路の油中ガス分析については、お客さまとの設備停止時期の調整がつき次第、絶縁油を採取して分析を行う予定としておりました。

（平成28年11月11日お知らせ済み）

その後、改めて経済産業大臣より、一般送配電事業者などに対して、地中送電ケーブルの安全に万全を期すとともに、その対策等を本年度内に報告する旨の指示文書が11月16日に発出されたことを受け、当社は、これらについてとりまとめ、本日、報告しました。

当社といたしましては、電力の安定供給を確保するため、これからも地中送電ケーブルをはじめとする電力設備の安定運用を着実に実施してまいります。

※ケーブル内部に油通路を設け、絶縁油をケーブル内部に充填し、大気圧以上の圧力を加えることで絶縁を確保したケーブル

<報告書の概要>

1. 一部未実施の緊急点検結果

お客さま供給線路の停止時期について、お客さまと調整後、油中ガス分析を行ったところ、24箇所のうち1箇所で劣化が確認されたため、速やかに当該送電線2回線のうち1回線の運用を停止し、現在、改修工事を手配中である。

2. 火災防止対策

○ 火災防止対策の強化が必要と考えられる17万V以上のOFケーブルについて、接続箱を防災区画で囲む対策を実施する。

○ 17万V以上のOFケーブルの油中ガス分析を以下のとおり見直す。

- ・頻度：1回／12年以内程度 → 1回／3年以内
- ・分析方法：従来の評価に加え、最新の知見であるサポートベクターマシン[※]による評価をあわせて実施する。

※一般財団法人 電力中央研究所が開発したOFケーブルの新たな劣化評価手法

3. その他

○ 防犯対策の強化が必要と考えられる箇所について、対策を実施する。

○ 17万V未満のOFケーブルについても、至近に実施した油中ガス分析の結果をサポートベクターマシンにより再評価し、劣化していないことを確認した。

○ OFケーブルに関する劣化特性調査や診断技術の高度化に向け、電力各社が協力して研究を推進し、得られた最新知見を適宜、保守計画へ反映する。

○ 管轄の警察・消防との情報交換を行うとともに緊急時の連絡体制を確認した。

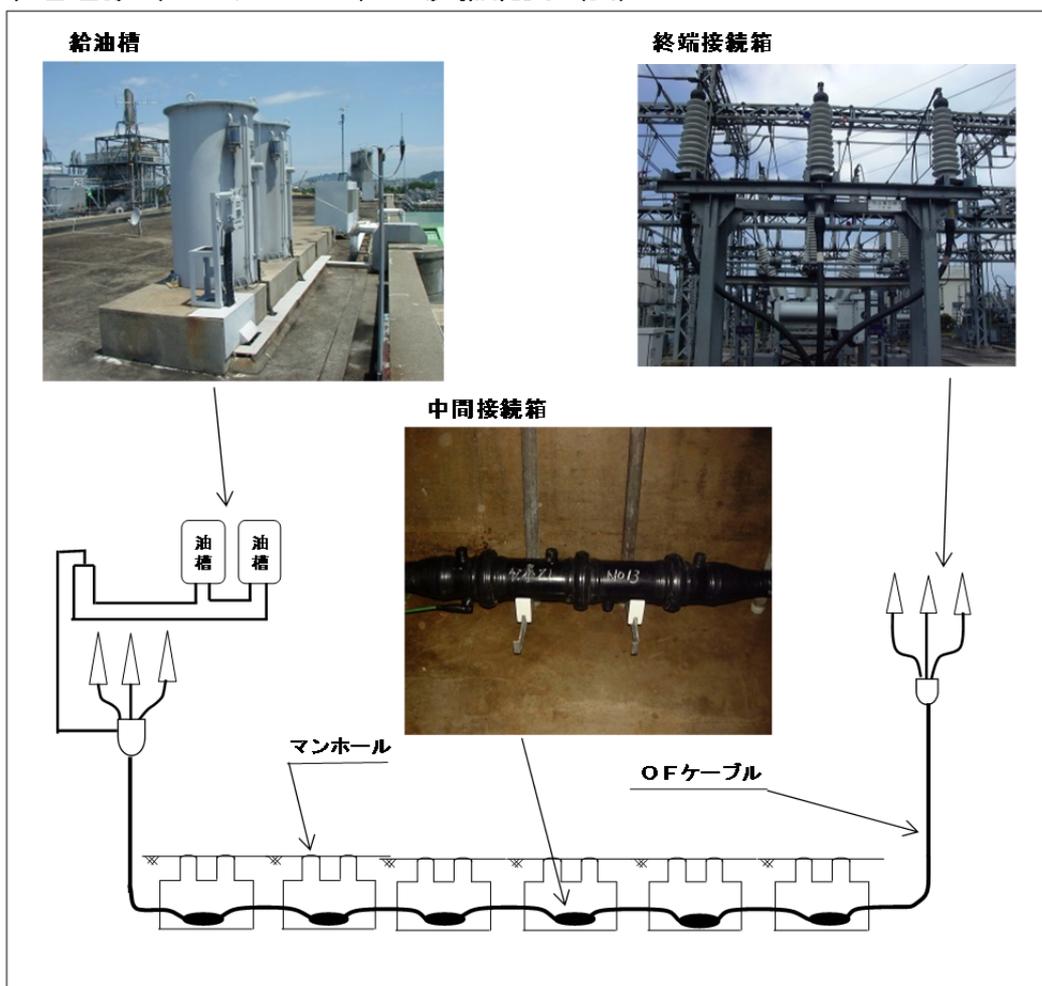
○ 送電線事故発生時の対応マニュアルに地中線火災発生時に特有の留意事項を追記するとともに、定期的に初動対応訓練を実施する。

以 上

点検項目

点検項目	点検内容
ケーブル点検	ケーブルの外観に異常がないか目視により点検
油量・油圧点検	OFケーブルの端部に接続された給油槽の油量・油圧を確認
油中ガス分析	OFケーブルの絶縁油を採取し、油中に含まれる異常成分の有無(量)を分析

地中送電線（OFケーブル）の設備概要（例）



OFケーブル

